



約1万個の積み木に囲まれ、城を作って遊ぶ園児

**積み木と一緒に笑顔も積んだよ**

■積み木ランド／あおぞら保育園

あおぞら保育園園児98人が1月21日、同園ホールに用意された積み木約1万個で遊びました。同園保護者会が「たくさんの積み木で遊ばせたい」と製材業者に依頼したもので、積み木は大井川流域の杉やヒノキで作られたもので、軽くて角がなく、安全に遊ぶことができます。園児らは、木の香りがするたくさんの積み木に目を輝かせ、「いい匂いがする」「おもしろい」とお城などを思い思いに創造力を膨らませながら、楽しく作っていました。

**夢を追い、第二の匠馬を目指せ**

■ドリーム教育講演会／萩間小学校

ドリーム教育講演会が1月11日、萩間小学校で行われ、全校児童133人が参加しました。児童生徒に対して、目標に向かい志を持ってもらうように開催しているもので、講師は本市出身のJリーガーで清水エスパルスからセレッソ大阪に移籍している枝村匠馬選手。同選手は、「新しいスタートを大切にしてほしい」と児童にメッセージを送りました。講演後の実技披露では、リフティングや児童とのドリブル対決、ミニゲームなどでプロの技を披露し、児童と一緒に交流しました。



児童とドリブル対決をする枝村選手

**給食っておいしいね**

■学校給食展

学校給食展が1月25日、市学校給食センターで開かれ、親子連れなど約60人が参加しました。学校給食の大切さや給食への理解を深めてもらうと実施しているもので、見学者は学校給食の歴史年表や調理場を熱心に見学しました。給食の試食では、地元食材を使った「マキティーふるさとカレー」が給食用にアレンジされ、未就学児を持つ親は、「栄養のバランスも取れ、おいしいので安心して子どもに食べさせることができる」と話してくれました。



おいしそうに給食を味わう親子



懐紙を折って敷き紙を作る参加者

**懐紙で新しい茶文化を紹介**

■懐紙の使い方講座

茶席で和菓子を取り分ける際などに使う「懐紙」の使い方講座が1月22日、市役所相良庁舎で開かれ、茶業関係者など約40人が参加しました。多目的な懐紙の便利な使い方を学び、新たな茶文化に生かそうと市茶業振興協議会が企画。京都の老舗懐紙専門店「辻徳」から辻並月子さんを講師に招き、「書く、包む、拭く、置く」など多様な用途やさまざまな折り方を学びました。参加者は、「懐紙は敷居が高いものと思っていたが、折り方も簡単に生活に役立ちそう」と話してくれました。



永野隆地区長会長の音頭により、静岡牧之原茶で乾杯

**市の発展を願う**

■平成25年牧之原市新春初顔合わせ会

平成25年牧之原市新春初顔合わせ会が1月7日、地頭方のマイハートうおともで開かれ、市内の企業や団体の代表者ら約250人が出席しました。西原市長が、「安定と安全はどちらも手をこまねいては何もできない。連携して挑戦を」と年頭のあいさつ。出席者は、静岡牧之原茶で乾杯した後、さまざまな種類のお茶と市内菓子店自慢の菓子を味わいながら、互いに今年の抱負を語り合うなど交流を深め、市の発展を願いました。会に先立ち、地方自治や教育文化など市に対して功績のあった13個人と1団体、1組を表彰しました。

**今年1年健康で過ごせますように**

■どんど焼き／牧之原保育園

牧之原保育園は1月8日、園庭でどんど焼きを行い、園児68人が参加しました。昨年末に、園児らが地域のお年寄りと共に製作した正月飾りを持ち寄って燃やす同園の恒例行事。園児らはお飾りを燃やし、その火に当たって、今年1年の無病息災を祈りました。また、園児らは焼いた餅をノリとしょうゆで磯辺焼きにして、「熱いけどおいしい」「もっと食べたい。お餅大好き」とうれしそうに頬張っていました。



正月飾りを焼いた火で餅を焼く園児



一斉放水する消防団員

**地域の防災リーダーとして活動**

■平成25年牧之原市消防団出初め式

平成25年牧之原市消防団出初め式が1月6日、相良中学校で行われ、団員421人が参加しました。式では、勤続5年以上の団員や功績のあった団員に対して表彰が行われ、日ごろの功労がたたえられました。鈴木雅志団長は、「われわれ団員は、地域の防災リーダーとしての役割と多様化する災害に対応できるように活動しなくてはならない」と訓示を述べました。式後、グラウンドで操法が行われ、団員らの日ごろ訓練の成果が披露されました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎ (23) 0052 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp